

シャロンの花



同窓会報

第1号

「シャロンの花」は、校歌の歌い出しです。昭和26年、創立10周年の時に制定されました。当時教頭でいらした沢田繁二先生作詞のこの校歌は、他校にはない美しい響きを持つ詩で綴られています。同窓会報を創刊するにあたり、懐かしい言葉「シャロンの花」をタイトルに致しました。

シャロンは、イスラエル西部の地名です。その地に咲く白い可憐なシャロンの花は、旧約聖書で純潔の象徴とされています。

平成9年3月10日発行 (1997)

(表紙タイトル・イラストデザイン 昭和35年卒 北川広志)

発行者

千葉県立千葉東高等学校
同窓会会長 井戸川 浩

編集部

千葉県立千葉東高等学校同窓会事務局内
〒263 千葉市稲毛区轟町1-18-52
TEL 043-251-9221 FAX 043-255-6575

印刷所 (有) 宮坂印刷 TEL 043-251-4537 FAX 043-251-4535



同窓会報「シャロンの花」 発刊ご挨拶

千葉県立千葉東高等学校同窓会

会長 井戸川 浩

このたび、同窓会役員はじめ多くの関係者のご努力によりまして、永年の懸案でありました同窓会報発刊にこぎつけました。この間、学校当局をはじめ、忙しい仕事の合間を縫ってご協力頂いた役員、OB各位に厚くお礼申し上げます。

東高同窓会は、卒業生が既に2万3千名を越えているにもかかわらず、同窓会の活動や母校の動静が知らされていないという状況にありました。これでは、母校に対する愛校心や、恩師・在校生・卒業生といった関係者間の連帯感も育まれないばかりか、夢多き多感な青春時代の回顧が明日への活力を

産み出す、というメカニズムが作動しないままとなってしまいます。

これは、ひとえにそうした情報の近くにいる私たち役員の怠慢であったと深く反省し、一刻も早く皆さんにお知らせできる体制作りを実現したいという思いが、今日の運びとなった訳でございます。いろいろな分野で活躍されている同窓生を紹介し、在校生の皆さんの目標にしていだいたり、懐かしい恩師の方々の活躍を紹介して、それをきっかけにクラス会、同期会を開催していただくというようなことになれば、この同窓会報も生きてまいります。

そして、会報という性格上、皆さん

からの情報提供も是非お願い致したく、クラス会、OB会等の会合情報は写真を添えて同窓会事務局までお寄せいただければ幸いです。一方通行ではなく会員すべてが共有できる情報発信源となれるよう今後も努力する所存でございます。

また、将来の課題としましては、インターネットを通じたホームページ上での情報提供も研究していかなくてはならないだろうと考えております。

何分、役員や編集委員は熱意は旺盛ですが、時間のやりくりで苦勞し、思うようにスピードアップできませんし、資金も少ないので望むような枚数が、印刷できないというのが現状でございます。

今後ともひとりでも多くの同窓生の皆さんの物心両面にわたるご協力を得まして、紙面の充実を図っていきたいと思いますので、どうかよろしくお願い申し上げます。



校史から見た東高の歩み

名誉会長（学校長） 荒川 昇

昭和16年1月15日、千葉市立千葉高等女学校として設立された本校は、その後25年に千葉第三高等学校、36年に千葉東高等学校と校名を変更し、56年の歳月を刻んでまいりました。この間、本校を巣立った卒業生の総数は通信制・衛生看護科を併せて23,000名を超えます。

開校時の昭和16年は、太平洋戦争開戦の年であり、臨戦態勢の下でのスタートとなったわけですが、分散校舎、生徒動員、校舎の一部焼失といった悪条件の下で、在校生達は精一杯張りつめた気持で学校生活を送っていた様子が、校史から読み取ることができます。そして昭和23年、教育制度の改革に伴って、本校は千葉市立女子高等学校として、全校舎を現在地に移転し、5月15日に開校式を行っております。

50年を超える本校の歴史の中で、重要なターニング・ポイントといえる事柄もいくつか挙げられますが、その一

つに44年の学園紛争があります。校内にヘルメット学生が乱入し、校舎が封鎖されるという異常な事態が発生していますが、これは安田講堂事件に代表される大学紛争の余波が、高校にまで及んだ不幸な出来事でした。半年余りの紛争の後、全校教職員の正常化への努力に、生徒側が良識をもって応えることで事態は収拾されました。紛争後改訂された生徒会規約の前文には「我々千葉東高等学校の生徒会の全会員は、自らの責任ある自主的判断と行動を通じて、学校生活のより一層の進歩発展、民主化を計るための組織として生徒会が必要であると確信する・・・」と記されています。

また50年からの3年間、総合選抜制が実施されました。本校は千葉高、千葉女子高、千葉南高、千葉市立高とともに第一学校群所属となり、選抜試験を実施していますが、この結果本校受験生の学力検査平均点は大幅に上昇し

ています。そしてこの総合選抜をバネに本校は進学校へと変容していくこととなりますが、ここで強調しておきたいことは、本校は単に大学進学率、有名大学への進学のみを目的として、あらゆるものを犠牲にして受験指導を行ってきた学校ではないということです。三高時代から受け継がれてきた自由で伸びやかな校風・部活動と勉強の両立を追求する生徒達の努力が、東高躍進の原動力であったことは疑いのない事実です。

更に東高を特色づけるものの一つに、通信制課程があります。昭和32年に3名の第一回生が卒業した通信制課程は、我国の社会構造の変化とともに、年々生徒数が増加し、平成8年度在籍生徒数は1,225名と全日制を上回るものとなりました。通信制の特色は入学してくる生徒の多様性にありますが、さまざまな困難と闘って卒業をめざす生徒達のためにも、できる限りの配慮をしてみたいと考えております。

以上本校の50年史を中心に東高の変遷を辿ってまいりましたが、新しい世紀に向けて、更に飛躍するために、同窓諸兄の御支援、御協力をお願いいたします。

平成8年度千葉県立千葉東高等学校同窓会総会報告

平成8年度同窓会総会が、5月26日(日)千葉ロイヤルプラザホテルにおいて開催されました。

井戸川会長、荒川名誉会長の挨拶に続いて、来賓の先生方のご紹介・ご挨拶、母校職員の紹介の後、7年度の事業報告、会計報告、監査報告と続き、8年度の事業計画案、予算案の審議、役員を選出が行われ、すべて承認されました。

総会後、引き続いて懇親会が行われ、余興に昭和48年卒業の有賀健司さんが落語を披露して下さいました。20名を超える旧職員の先生方の懐かしいお顔が並び、旧交を温め合う楽しいひと時を過ごすことができました。

平成7年度千葉県立千葉東高等学校同窓会費決算

総収入 3,650,516
 総支出 2,023,468
 残 額 1,627,048 …… 次年度へ繰越

収入の部

(単位 円)

項 目	予 算 額	収入済額	備 考
1. 会 費	1,656,000	1,677,000	全 3,000円×402名 通 3,000円×157名
2. 入 会 金	276,000	279,500	全 500円×402名 通 500円×157名
3. 繰 越 金	1,594,993	1,594,993	
4. 雑 収 入	20,000	99,023	総会時会場費等 利子
計	3,546,993	3,650,516	

支出の部

項 目	予 算 額	支 出 額	備 考
1. 運 営 費	1,370,000	1,404,218	
(1) 会 議 費	60,000	73,787	役員会経費
(2) 総 会 費	400,000	356,621	総会経費
(3) 通 信 費	300,000	209,030	会議連絡用葉書、切手代、印刷代
(4) 慶 弔 費	500,000	662,659	卒業生、転退職員記念品代等
(5) 旅 費	20,000	3,000	
(6) 雑 費	90,000	99,121	事務局費等
2. 事 業 費	1,500,000	200,000	在校生全国大会出場賛助金等
3. 予 備 費	262,993	0	
4. 基金繰入金	414,000	419,250	会費の4分の1定期預金へ
計	3,546,993	2,023,468	

基金繰入金会計(定期預金)

平成7年度 累計 11,341,154

(単位 円)

摘 要	収 入	支 出
前 年 度 より 繰 越	10,759,397	
利 息 (定期預金分)	162,507	
平成7年度分基金繰入金	419,250	
計	11,341,154	0

会計監査報告

平成7年度同窓会会計の出納簿、証拠書類および預金通帳等を詳細に検査した結果、処理が正確であり異状ないことを認めたので、ここに報告いたします。

平成8年5月26日

千葉県立千葉東高等学校同窓会

会計監査 石 井 洋 子 ㊞

古 市 純 久 ㊞

平成8年度千葉県立千葉東高等学校同窓会費予算

収入の部

(単位 円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	備 考
1. 会 費	1,602,000	1,656,000	全 3,000円×384名 通 3,000円×150名
2. 入 会 金	267,000	276,000	全 500円×384名 通 500円×150名
3. 繰 越 金	1,627,048	1,594,993	
4. 雑 収 入	20,000	20,000	利子等
計	3,516,048	3,546,993	

支出の部

項 目	予 算 額	前年度予算額	備 考
1. 運 営 費	1,410,000	1,370,000	
(1) 会 議 費	80,000	60,000	役員会経費
(2) 総 会 費	400,000	400,000	総会経費
(3) 通 信 費	300,000	300,000	会議連絡用葉書、切手代等
(4) 慶 弔 費	500,000	500,000	卒業生、転退職員記念品代等
(5) 旅 費	20,000	20,000	
(6) 雑 費	110,000	90,000	
2. 事 業 費	1,500,000	1,500,000	
3. 予 備 費	205,548	262,993	
4. 基金繰入金	400,500	414,000	会費の4分の1定期預金へ
計	3,516,048	3,546,993	

会長・役員のごき

平成8年4月8日 全日制入学式出席
 4月14日 通信制入学式出席
 9月15日 東雲祭見学
 10月20日 通信制体育祭見学
 12月13日 全日制芸術観賞会出席「夏の夜の夢」
 平成9年3月10日 全日制卒業式出席
 3月16日 通信制卒業式出席

母校の行事に参加して、在校生を激励したり、感動を分かち合っています。

《母校及び同窓会の歩み》

年 月 日	同 窓 会	全 日 制	通 信 制																																																								
昭16. 1. 15		千葉市立千葉高等女学校として開校（4年制）																																																									
昭20. 3. 1		第1回生214名卒業																																																									
昭21. 3. 3	第1回総会開催																																																										
4. 1		5年制高等女学校となる																																																									
昭23. 4. 1		新学制により千葉市立女子高等学校となる																																																									
5. 15		千葉市立女子高等学校開校式（創立記念日）																																																									
昭25. 4. 1		県立移管により千葉県立千葉第三高等学校となる																																																									
昭26. 11. 2	記念募金実施	創立10周年記念式典挙行・校歌制定																																																									
昭29. 4. 1	この年から同窓生の中から役員を選出。幹事長に永江 栄		通信教育部設置（千葉一高・千葉二高から統合移管）																																																								
昭31. 10.	体育館建設資金募金実施																																																										
昭32. 3. 1			第1回生3名卒業																																																								
昭33. 8.	規約改正 母校校長は名誉会長、同窓生の中から会長・副会長選出。会長 永江 栄、副会長 小西一三																																																										
昭36. 4. 1		千葉県立千葉東高等学校に校名変更																																																									
10. 6	創立20周年記念募金実施 → 母校火災のため火災復興募金に変更																																																										
昭38. 4. 1			NKK学園協力校となる（55. 3. 31 廃止）																																																								
昭39. 7.	同窓生ヒマラヤ遠征援助募金実施																																																										
昭41. 4. 1		衛生看護科設置	通信制卒業生数																																																								
昭42. 11. 19	規約改正 副会長を3名に増員 会長 永江 栄、副会長 小林美代子、高橋一郎、長谷川直和		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>男</th><th>女</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和31～59</td><td>817</td><td>2,788</td><td>3,605</td></tr> <tr> <td>60</td><td>27</td><td>76</td><td>103</td></tr> <tr> <td>61</td><td>35</td><td>75</td><td>110</td></tr> <tr> <td>62</td><td>29</td><td>61</td><td>90</td></tr> <tr> <td>63</td><td>31</td><td>63</td><td>94</td></tr> <tr> <td>平成元</td><td>40</td><td>71</td><td>111</td></tr> <tr> <td>2</td><td>43</td><td>84</td><td>127</td></tr> <tr> <td>3</td><td>60</td><td>73</td><td>133</td></tr> <tr> <td>4</td><td>64</td><td>90</td><td>154</td></tr> <tr> <td>5</td><td>62</td><td>88</td><td>150</td></tr> <tr> <td>6</td><td>79</td><td>112</td><td>191</td></tr> <tr> <td>7</td><td>57</td><td>101</td><td>158</td></tr> <tr> <td>総 数</td><td>1,344</td><td>3,682</td><td>5,026</td></tr> </tbody> </table>		男	女	計	昭和31～59	817	2,788	3,605	60	27	76	103	61	35	75	110	62	29	61	90	63	31	63	94	平成元	40	71	111	2	43	84	127	3	60	73	133	4	64	90	154	5	62	88	150	6	79	112	191	7	57	101	158	総 数	1,344	3,682	5,026
	男	女	計																																																								
昭和31～59	817	2,788	3,605																																																								
60	27	76	103																																																								
61	35	75	110																																																								
62	29	61	90																																																								
63	31	63	94																																																								
平成元	40	71	111																																																								
2	43	84	127																																																								
3	60	73	133																																																								
4	64	90	154																																																								
5	62	88	150																																																								
6	79	112	191																																																								
7	57	101	158																																																								
総 数	1,344	3,682	5,026																																																								
昭46. 11. 2	創立30周年記念に体育館の緞帳購入に協力・記念募金実施	創立30周年並びに新校舎落成記念式典挙行																																																									
昭47. 11. 19	役員改選 会長 小西一三 副会長は変更なし																																																										
昭56. 11. 4	創立40周年記念品贈呈	創立40周年記念式典挙行																																																									
昭57. 12.	ラグビー部全国大会出場募金実施																																																										
昭59. 7.	通信制運動クラブ全国大会出場募金実施																																																										
昭60. 3.	母校へ校章贈呈（玄関へ設置）																																																										
昭60. 12.	ラグビー部全国大会出場募金実施																																																										
昭61. 3. 8		衛生看護科記念碑除幕式挙行																																																									
3. 31		衛生看護科廃止																																																									
昭62. 12.	ラグビー部全国大会出場募金実施																																																										
昭63. 12.	ラグビー部全国大会出場募金実施																																																										
平成. 2. 20	セミナーハウス落成記念暗幕贈呈	セミナーハウス完成																																																									
平3. 11. 9	創立50周年記念募金実施	創立50周年記念式典挙行																																																									
平5. 1. 19	創立50周年記念事業・タイムカプセル埋設式へ会長出席																																																										
5. 23	規約改正																																																										
平7. 5. 28	役員改選 会長 井戸川 浩 副会長は変更なし																																																										

全日制卒業生数

	市立女子	市立女子高	千葉三高	千葉東高	合 計
男	0	0	1,124	8,615	9,739
女	763	37	1,936	※5,767	※8,503
計	763	37	3,060	※14,382	※18,242

※印は衛生看護科680名を含む。

部活動

全日制

文化系		運動系		同好会
文学	美術	陸上競技	野球	歴史研究
物理	写真	水泳	テニス	J.R.C.
化学	書道	バスケットボール	卓球	漫画研究
生物	演劇	バレーボール	柔道	フォークソング
地学	ESS	剣道	山岳	陶芸
音楽	食物手芸	ラグビー		コンピュータ
吹奏楽	茶華道	ソフトボール		囲碁
マンドリン楽				空手道

<野球部>

第78回高校野球千葉大会で、33年ぶりに
県ベスト4へ進出

<ラグビー部>

関東大会に出場(茨城県水戸市)

<山岳部>

関東登山大会に出場(茨城県奥久慈山系)

<吹奏楽部>

千葉県吹奏楽連盟より
「永年連続出場賞」受賞

<音楽部>

NHK全国音楽コンクール関東大会に出場
全日本合唱コンクール関東大会に出場

<英語コンテスト>

県大会 スピーチの部 1位
猪飼桜子(2-8)

<書初展>

千葉県教育委員会・千葉日報社主催
文部大臣賞 黒瀧慎子(2-2)

国際交流

<豪州派遣プログラム>

派遣期間:平成8年7月29日~8月20日
派遣生徒数:男子4名 女子12名
引率教諭:池田和夫・菅野政敏

今年度からオーストラリアのメルボルン市にある
ビューバンク・カレッジと姉妹校交流を始めること
になりました。今回は第一回派遣で、ホームステイ
をしながら学校生活を体験しました。豪州の文化、
教育、習慣の違い等を学び、且つ、日本文化の紹介
等その所期の目的を果たしました。

<米国派遣プログラム>

派遣期間:平成9年3月1日~3月26日
派遣生徒数:男子1名 女子15名
引率教諭:内田久美子・大谷芳孝
派遣先:ニューヨーク州ロンデクォイト高校

部活動

通信制

文化系	運動系	同好会
書道	柔道	情報ビジネス
美術	バスケットボール	演劇
生物	バレーボール	社交ダンス
合唱	卓球	サッカー
文芸	テニス	
	陸上	
	バドミントン	
	野球	

<第45回千葉県定通体育大会>

野球部 準優勝
バスケットボール部男子 3位
バレーボール部男子 優勝
陸上部男子 総合優勝

<96年度全国定通体育大会>

バレーボール男子
(8月9日~11日 東京都体育館)

1回戦 千葉東 2 {15-8
15-7} 0 水戸南(茨城)
2回戦 千葉東 0 {2-15
10-15} 2 湘南(神奈川)

陸上(8月8日~11日 国立競技場)

400m 2B 今井義明 (29位) 57" 28
1500m 2B 今井義明 4' 54" 76
走幅跳 2F 早川勇平 (2位) 6m30cm
三段跳 2F 早川勇平 (3位) 12m60cm
4A 前田昌俊 (20位) 11m46cm

※早川勇平君(2F)は「全国定通陸上大会」で4
年連続出場者として、全国24名中の1人として表
彰されました。



母

校

は

今

〇
〇
〇

特
別
寄
稿



一隅を照らす努力をしましょう

第9代校長 畠山 一郎
(昭和47年～53年)

「我が母校、千葉東高等学校」ながいこと勤務させていただいた学校である。とくに在職中校名を千葉三校から千葉東高校に変えたことでも忘れがたい思い出の学校である。

剣道部の寒稽古には隣の植田君と松ヶ丘の自宅から自転車で皆勤する。終ってからのおいしい朝食、先輩もたくさんおいでくださって交流できる思い出の行事である。千葉大学教授の田島さん、東京学芸大学教授の柳本さんは共に汗を流した仲間である。教員養成大学の剣道指範としてお二方とも大きな功績をあげておられる。

白銀彦太郎先生は演劇部の指導に力を注がれた方である。どういふことで数学の先生がこの道に進まれたのかわから

ないが、いまもって演劇の指導に全国を歩いておられる。白銀先生は学年主任として遅刻生徒の家庭に電報をうって調査をし、野村典平先生は早朝家庭訪問をするなどして熱心に生徒指導をされた。三年後の大学入試に今までにない好成绩をあげたことはいふまでもない。

英語の松本正子先生は毎日朝宿題のノート提出をさせ、夕方には朱筆をいれて返すという努力家であった。

社会の各方面で活躍されておられる多くの卒業生の皆さんが、それぞれの場で実績をあげ、社会に貢献しておられることはありがたいことである。

通信制課程に学ぶ皆さんの中には逆境を克服して勉学に

いそんでいる方が多い。自学自習の貴重な体験をいかし世の中に奉仕されている多くの同窓の皆さんには頭のさがる思いである。諸川校長先生の時に併設されてから今日まで年ごとに生徒がふえて千余名を数えている現状は千葉東高等学校発展のことを思う時、大きな力となっている。

国際化の今日では海外にでて活動している卒業生もたくさんおられる。在職中に米国の高校生と相互に交換学生のことを試みたことも思いだされる。積極的に諸外国でよい

仕事をしてほしいものである。

多くの卒業生の皆さんが、それぞれの生活の場で一隅を照らすよい仕事をしてほしい。地域にあつてはよい家庭人として地域社会のため寄与することを心がけてほしい。私どもが全力を尽して努力した千葉東高校の卒業生はそのような願いをこめてそだてられたものである。

時折は校歌を口ずさみ、友人と交流をして若々しい気分になり、明るく健康な社会をつくるために努力しましょう。

※編集部註 畠山先生は、昭和34年～40年に教頭としても在職されました。原稿に添えていただきましたお手紙に、『思わず「我が母校 — 」と書かせていただきましたが、私の心は「我が母校」です。』とありました。

校 歌

moderato 心をこめて

作詞 沢田 繁三
作曲 石黒 脩三

シャロンの はな と たたへた るを
アルプの やま の こしき

ふるきつ たーへーのた に の ゆ り き よ き ほ
ふみやぶ りーたーるま す ら を の きつ よ き こ

こりを うつしたて あて まなびの そーには
ころを うちたて あて まなびの そーには

ちかひぬ ふかき まなびの かてなれ
ぐくみぬ はげし まなびの かてなれ

ば いましを みなーごを とめさき びせ
ば いましを のこーごを とめさき びせ

じ - じ -

一 シャロンの花と たたへたる
古きつたへの 谷の百合
清きはこりを 移し植ゑ
学びの園に つちかひぬ
深きまなびの かてなくば
汝をみなごをとめさきせじ

二 アルプの山の こしきを
ふみやぶりとる ますらをの
強きこころを 打ち樹てて
学びの庭に はぐくみぬ
はげしきわざを つまざれば
汝をのこらをとめさきせじ

座談会

千葉東高と私
(1)

前列左より
青山先生
佐藤充宏さん
石井(編集員)
後列
卒業生

この欄では、各界で活躍されている卒業生をお迎えして、毎回いろいろなお話を伺う予定です。

第1回の今回は、元NHKアナウンサーで、現在フジテレビキャスターの佐藤充宏さん(昭和45年卒業)をお迎えしました。卒業時の担任でいらした青山克先生も同席されて話は弾み、在校生や卒業生が時々会話に参加して、楽しいインタビューとなりました。

Q: 東高在学中は話術研究部に、大学時代も落研に所属されていて、NHKの入社試験では、「落語」をされたそうですが…。

A: 役員面接で、「青山学院大学法学部で、何を学んだのか」と質問されて、「法学関係は何も学んでおりません。落語関係しか学んでおりません。落語研究会だけは皆勤でございます。」それでは、ということで落語をしました。

もともと編集の仕事がしくて、いろいろな出版社を受けました。集英社は最終試験までいったのですが、クラブの仲の良い友達と一緒に試験を受けようと言うので、NHKも受験しました。会社のことを何も調べないままで受験し、先に合格通知の来たNHKに決めました。そういう意味では、偶然にアナウンサーになったのです。

Q: 東高時代は、勉強を一生懸命しましたか?

A: 先生も「勉強しろ、!」と言わなかったし、あまり勉強をしなかったです。とにかく学生運動の盛んな時で、2年生のときはロックア

ウトはあったし、落ち着いて勉強をできる雰囲気ではなかったです。

青山先生: 勉強をしと言わなかったな。このクラスは、午後になるとほとんどの生徒が教室からいなくなったって聞いたけど、本当なのかな? 僕は、帰りのホームルームをしない主義だったから。

A: 本当ですよ。だいたいマージャンかビリヤードに行っていまし



た。昼休みにお好み焼きを食べに行ったり…。悪い奴が多かったなあ。本当の不良というのではないけれど、悪かったなあ。

Q: 成績は良かったですか?

A: 1年の最初の試験で、クラスで1番をとってから安心して、まったく勉強をしなくなりました。遊びまくって、卒業のときは学年で下の方でした。得意なのは国語、社会で、理科系が得意ではなかったのに、間違えて理系のクラスになりましたし…。

青山先生: いつかテレビで、高校時代は数学が得意だったと言っていたぞ。

A: そんなことはないです。きっと口が滑ったんです…。

Q: 今のお仕事はどうですか?

A: 月曜日から金曜日までの生番組ですから、結構きついです。朝は、迎えの車の中で、前日から朝までに起こったいろいろな事件の資料などに目を通します。入社すると番組が始まるまで打ち合わせ。番組終了後も翌日の打ち合わせがあります。この番組が始まってから、昼は局が用意する弁当以外食べたことはありません。そして、最低週に一回は本屋に通います。様々な分野の書を読んでいます。広く浅くいろいろな知識が必要になります。知識ということでは、学生時代にもっと勉強をしておけば良かったと思います。知識がなければ教養も育たないと思います。知識のない人、教養のない人と見られてしまうと仕事をする上でマイナスの点が多くなります。高校時代の勉強は基礎ですから、在校生も浪人生もしっかりと勉強をしてください。

NHK時代、ニュース、クイズ、教育と様々な番組にたずさわっていらして、一番好きなのはナレーションということです。テレビで拝見するより若々しい、そして渋い声がすてきでした。22年ぶりの来校とのことでしたが、久しぶりの東高はいかがでしたか? ますますのご活躍をお祈り致します。

佐藤充宏さんをお迎えして…
インタビュー Q & A

同窓会活動維持基金 創立60周年記念事業基金

◆ 千葉東高校も創立55年を過ぎ、同窓会も会員数2万人を超える大所帯となりました。

しかし、同窓会活動も広報不足の為、総会を開催しても役員を中心とした集まりとなり、あらゆる年代の方の参加をいただいております。今回、同窓会報を発行することにより、マンネリ化している活動に新しい風を送り込みたいと思います。

しかし現在千葉東高校では、全日制・通信制共に同窓会費を卒業時に徴収し、卒業後は一切徴収していません。そのため今後のより活発な活動を期する場合、現在のままでは活動費が充分ではありません。また、この会報を毎年発行し、全会員に郵送していく予定ですが、編集・発行費用もかなりかかります。

そこで、会員の皆様に費用の一部負担をお願い致したく、「同窓会活動維持基金」を設けさせていただきました。基金にご賛同いただけます方は、お手数ながら右記宛に、1口2千円にてご送金下さいますようお願い申し上げます。



平成8年度同窓会役員紹介

名誉会長	荒川 昇 (母校校長)
会長	井戸川 浩 (高11 S. 34年卒)
副会長	小林 美代子 (高女2 S. 21年卒)
	高橋 一郎 (高9 S. 32年卒)
	長谷川 直和 (通6 S. 37年卒)
書記	小塚 興作 (高11 S. 34年卒)
	上市 善章 (高31 S. 54年卒)
会計	石井 ゆかり (高28 S. 51年卒)
	石橋 康郎 (通21 S. 52年卒)
会計監査	石井 洋子 (高女4 S. 23年卒)
	古市 純久 (高21 S. 44年卒)
常任幹事	菅野 英夫 (高8 S. 31年卒)
	長瀬 精一 (高12 S. 35年卒)
	林 ユミ子 (通37 H. 5年卒)
顧問	永江 栄 (高女2 S. 21年卒)
	細川 悦子 (高8 S. 31年卒)
	大木 進 (通4 S. 35年卒)
	小西 一三 (高6 S. 29年卒)
事務局	穴倉 健司 (母校職員・S. 35年卒)
	下村 国生 (母校職員・S. 40年卒)
	小川 巧 (母校職員・S. 42年卒)
	馬場 勇 (母校職員・S. 44年卒)
	佐瀬 八重子 (母校職員)

◆ 平成13年に千葉東高校は創立60周年を迎えます。そこでそろそろ記念行事を計画していかなければならない時期にさしかかってきました。60年という、人間ならば「還暦」に当たる節目の行事を在校生と共に祝いできれば楽しいことと思います。

出費の重なるところ大変恐縮でございますが、「60周年記念事業基金」にご賛同いただけます方は、1口2千円にて下記宛ご送金下さいますようお願い申し上げます。

郵便振替口座 00160-8-148932
千葉東高等学校同窓会

※お手数ですが、どちらの基金宛にご送金かご指定下さい。何口でも結構です。ご協力お願い致します。ご指定のない場合は、「活動維持基金」に入金させていただきます。

平成9年度総会のお知らせ

日時 5月25日(日) 午前11時受付
場所 千葉京成ホテル TEL 043-222-2111
会費 5000円

※総会終了後、懇親会を行います。
問合せは、同窓会事務局まで。

会 合 情 報

1. 柔道部OB会

平成8年2月24日 於：千葉市「和加奈」
主に40年代卒業のOBが中心に参加しています。

2. 話術研究クラブ(話研)OB会

平成8年9月27日 於：千葉市「花村」20名参加
現在、母校には残っていないクラブです。

3. 昭和48年卒業生同期会

平成9年1月12日 於：八重洲「国際観光ホテル」
19名参加
初めてなので同期生全員に声をかけられませんでした。

4. 音楽部OB会

平成8年5月6日 於：母校音楽室
25名参加
昭和39年度から45年度卒業生が勅使川原先生を囲んで
30年ぶりに集い、楽しく合唱・歓談しました。

編集後記

初めての同窓会報は、いかがでしたでしょうか？卒業生と在校生をつなぎ、同窓会の動き、東高の動きをそれぞれお伝えできる会報にしたいと思っております。

皆様からのご意見、ご要望をお待ちしておりますので、同窓会事務局までご連絡をお願い致します。(石井ゆ)